

# REVSPEED

December 2012  
No.264

12

WTAC 2012を振り返る  
日本勢のリベンジは  
可能か!? 前編

86/BRZチューニング教本

+ 特別付録 DVD 980円



DVD Other Contents  
スノードライブのイメトレに!  
ランボルギーニ ガヤルド  
モンゴル雪上試乗会  
鈴鹿サーキット攻略に!  
VTEC+スーパーチャージャーの  
激速エキシージ車載映像  
SA東京ベイ東雲 Presents  
マフラー5銘柄の味わいを  
BRZで実装チェック!

もっとラクに  
リスクなく  
走れるんです!

谷口信輝 / 大井貴之 / 吉田寿博 / 井口卓人 直伝  
ふだんからできる  
推奨トレーニング  
街乗りから見直して速くなる!

86/BRZより安くて速くて楽しいぞ!

# いまこそシルビア

# いまからつくるサーキット対応シルビア アームズからの提案



**丸山淳一さん**  
シルビアひと筋のアームズ。専門店でもあるのでチューンノウハウはもちろんのこと、中古車選びの力にもなってくれる。お金を掛けずに楽しめるクルマ、というのを狙った赤S15だ。



## あまりお金を掛けなくても 楽しく走れる仕様をつくる その答えがこのS15

### ノーマルエンジンにフライ ホイールという新発想

アームズの赤いS15というと、V Eヘッド搭載のタイムアタック号かと思うところだけれどこのS15は新たに導入したクルマ。

仕様はというと、なんとエンジンはフルノーマル。ブーストアップすらしていない。排気系も触媒+マフラーのみというシンプル過ぎるくらいのライトチューン。

まるで今回の企画用につくってきたようなクルマだが、もちろんそんな仕込みではない。そう、じつはシルビアをライトチューンで乗る流れはすでにあるということなのだ。

アームズは自社でシルビアの中古車販売もしているが、専門店として良質なクルマを揃えている。

そういうクルマを購入するお客さんは、派手にイジらない。ライトチューンでスッキリと仕上げるケースが多いのだが、そこはやはりシルビア、ライトチューンといえども乗って面白い面は必要だ。

その要望に対してアームズが用意したのがこのS15。前述のようにエンジン、タービンはノーマルでエキマニも純正。しかし、試乗した青木プロはレスポンスがよく、気持ちよく走れるとコメントした。

その理由はというと……軽量フライホイールだ。ノーマルパワーなので強化クラッチは不要だが、フライホイールのみ変えている。

フライホイールが軽くなれば当然吹け上がりのレスポンスは向上。そのためアクセルを踏んでいったときの加速感も向上、シフトチェンジのときのつながりも気持ちいい。

この特性になるおかげで、ノーマルながら気持ちいいフィードバックが入るといふことだ。

それにこの仕様なら、エンジンやタービン、そしてミッションなど、どこにも余計な負担を掛けずに済む。これはちょっと年式的に古くなってきたS15的になりがたい部分でもあるはずだ。

ノーマルエンジン+軽量フライホイールという組み合わせは、訊いたあとだと「ふーん」という反応だろうが、チューンノウハウやパーツが豊富にあるいまの時代、SR20DETのノーマルエンジンに軽量フライホイールを組み合わせるという発想はなかなかできるモノではない。

しかし、まさに灯台もと暗し、最もシンプルなチューン方法がこんなところにあつたのだ。



### 青木孝行の 楽しさCheck!@本庄

最初は少しサスセッティングが硬く荷重を乗せにくい印象だったので、ピットインして減衰力を低くしてもらった。その後はいいフィードバックに。ブレーキもコントロールしやすくコーナリング時の印象はよかった。エンジンについて、乗る前にブーストアップもしていないと聞いていたけど、それにしては速いというが鋭い印象。その答えが軽量フライホイールだったようだけど、たしかに効果的。吹け上がりが速いので結果、加速力も上がっている。シフトチェンジのときも気持ちいい。これはブーストアップなどのように、エンジンやタービンに負担を掛けないのがいい。ちなみに今回の状態で本庄サーキット45秒4。タイヤはラジアルなのでなかなかいい。



## 1 賢いベース車購入術

### 安いクルマではないだけに、クルマ探しからプロに任せる

S15の中古相場は約150万円～といったあたり。年式を考えると安いクルマではない。しかも走りイメージの強いクルマだけに程度の幅は広いので、外れを引く可能性も高いということ。そこで程度がいい車体を手に入れるための方法、アームズのようなシルビアに強いショップを利用するのがポイントだ。しかもアームズは技術力のあるチューニングショップなので、購入後のチューン予定まで含めて事前に相談しておけば、たとえばボディカラーやエ

アロ装着など、妥協できるところはする。その代わり走行距離や事故歴なしなど譲れないところは譲らない、という効率のいいクルマ探しができるだろう。また、購入後に付ける予定だったパーツを納車前に組み込めるので、ローンにチューニング代を含めることも可能。クルマ代とチューン代を別のローンで組むと金銭的に辛いはずなので、まとめられるこの方法は結構メリット大きいことだと思いますが……。

## 2 ココだけは手を入れたいメンテポイント

### まだ見つかる程度極乗車。どうせ買うならいいモノをGETしろ!

①アームズの赤S15のエンジンルーム。見ての通りぴかぴかの程度抜群、しかもドノーマルだったという。こういうクルマも探せばまだ出てくる。S15はS13や14に比べると台数が少ないので、程度重視で行きたいなら早めに動き出したほうが良い。②これはアームズオリジナルのミッションオイル用キャッチタンク。このタンクを付けることでミッションオイルを規定量以上入れることができる。これによってミッションの保護になるし、通常使用時もミッションの入りがよくなる。増やせる量はS15の6速ミッションの場合、1.5ℓが3ℓ。5速ミッションは2.5ℓが3ℓとなる。価格は1万8900円。

③シルビアの中古車はチューン済みのをノーマルに戻して売っているケースも多い。が、シルビアはインタークーラーを前置きにすると、ラジエターコアサポートの部分を加工するので、ここを見ることももの状態を判別する参考にもなる。④中古車だとピロテンションロッドなど、付いているクルマが多いが、この手のパーツは定期交換品。いつ付けたのか不明だったり、ピロのブーツが破けているような場合は要交換。⑤キャンパー付きだったり、太いタイヤを履いていたりするとハブガタが出ているクルマもある。個人売買で購入するときはこういう部分もチェックさせてもらおう。



## 3 いま走りを楽しむためのファーストステップ仕様

### エンジンはいじらないけど、サス&シャシーはしっかりイジる

①エキマニもノーマルだが、ここはレスポンスアップ狙いで交換するのも手。②フライホイールを軽量タイプに交換。この作業ではミッションを降ろすので、キャッチタンク装着や、ミッションマウント交換なども同時に行う。③ブレーキパッドはアクレ製。GT-R純正ブレンボキャリパーを付けているクルマの場合、市販のスポーツパッドはGT-Rの重さなどに合わせた設定なので、軽いシルビアには効き過ぎ。コントロールしにくいブレーキになってしまう。そこでシルビアに合わせたオリジナルパッド。価格はフロント、リヤ共に1万8900円。④L.S.DはAT Sのカーボンが人気。イニシャルを高めても音が出ない。⑤⑥サスキットの開発ドライバーは木下みつひろプロ。

ベースはスピリット。全長調整式で減衰力は20段調整。標準はワインディングからサーキット向けで、タイヤはハイグリップラジアル用。もちろん仕様変更は可能。価格は21万円。⑦シルビアにメンバーカラーは定番だけど、じつはS15はトラクション性能UPのために、純正でメンバーに角度を付けている。ところが市販のメンバーカラーを入れてしまうと、この角度が戻ってしまう。そこで純正と同じ角度を保つように前後の厚みを変えた専用設計メンバーカラー。価格は1万6800円。⑧フルバケを入れると純正ステアリングの位置ではポジションがあわなくなりがち。そんなときはステアリング交換+スペーサー。ステアリングを手前に持ってくる。

